

10/509377

DT1 c'd PCT/PTO 28 SEP 2004

**COURTESY COPY OF THE
INTERNATIONAL
PRELIMINARY EXAMINATION
REPORT
IN JAPANESE**

特許協力条約

発信人 日本国特許庁（国際予備審査機関）

出願人代理人 社本 一夫	殿	PCT
-----------------	---	-----

あて名
〒 100-0004
東京都千代田区大手町2丁目2番1号
新大手町ビル206区ユアサハラ法律特許事務所

国際予備審査報告の送付の通知書

(法施行規則第57条)
(PCT規則71.1)発送日
(日.月.年)

09.12.03

出願人又は代理人 の書類記号 YCT-815	重要な通知	
国際出願番号 PCT/JP03/04222	国際出願日 (日.月.年) 02.04.03	優先日 (日.月.年) 02.04.02

出願人（氏名又は名称）
中外製薬株式会社

1. 国際予備審査機関は、この国際出願に関して国際予備審査報告及び付属書類が作成されている場合には、それらをこの送付書とともに送付することを、出願人に通知する。
2. 国際予備審査報告及び付属書類が作成されている場合には、すべての選択官庁に通知するために、それらの写しを国際事務局に送付する。
3. 選択官庁から要求があったときは、国際事務局は国際予備審査報告（付属書類を除く）の英語の翻訳文を作成し、それをその選択官庁に送付する。
4. 注 意

出願人は、各選択官庁に対し優先日から3ヶ月以内に（官庁によってはもっと遅く）所定の手続（翻訳文の提出及び国内手数料の支払い）をしなければならない（PCT39条（1））（様式PCT/IB/301とともに国際事務局から送付された注を参照）。

国際出願の翻訳文が選択官庁に提出された場合には、その翻訳文は、国際予備審査報告の付属書類の翻訳文を含まなければならない。

この翻訳文を作成し、関係する選択官庁に直接送付するのは出願人の責任である。

選択官庁が適用する期間及び要件の詳細については、PCT出願人の手引き第II巻を参照すること。

名称及びあて名 日本国特許庁（IPEA/JP） 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	権限のある職員 特許庁長官	4P	9159
電話番号 03-3581-1101 内線 3490			

特許協力条約

PCT

国際予備審査報告

(法第12条、法施行規則第56条)
[PCT36条及びPCT規則70]

出願人又は代理人 の書類記号 YCT-815	今後の手続きについては、国際予備審査報告の送付通知（様式PCT/IPEA/416）を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP03/04222	国際出願日 (日.月.年) 02.04.03	優先日 (日.月.年) 02.04.02
国際特許分類 (IPC) Int.Cl' C07J1/00, A61K31/566, A61P19/10, 35/00, 43/00		
出願人（氏名又は名称） 中外製薬株式会社		

1. 国際予備審査機関が作成したこの国際予備審査報告を法施行規則第57条（PCT36条）の規定に従い送付する。

2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 3 ページからなる。

この国際予備審査報告には、附属書類、つまり補正されて、この報告の基礎とされた及び／又はこの国際予備審査機関に対して訂正を含む明細書、請求の範囲及び／又は図面も添付されている。
(PCT規則70.16及びPCT実施細則第607号参照)
この附属書類は、全部で ページである。

3. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。

- I 国際予備審査報告の基礎
- II 優先権
- III 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
- IV 発明の単一性の欠如
- V PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
- VI ある種の引用文献
- VII 国際出願の不備
- VIII 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 02.04.03	国際予備審査報告を作成した日 26.11.03
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官（権限のある職員） 富永 保印 電話番号 03-3581-1101 内線 3490

I. 国際予備審査報告の基礎

1. この国際予備審査報告は下記の出願書類に基づいて作成された。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差し替え用紙は、この報告書において「出願時」とし、本報告書には添付しない。PCT規則70.16, 70.17)

 出願時の国際出願書類

- | | | |
|--------------------------|-------------------------|----------------------|
| <input type="checkbox"/> | 明細書 第 _____ ページ、 | 出願時に提出されたもの |
| | 明細書 第 _____ ページ、 | 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの |
| | 明細書 第 _____ ページ、 | 付の書簡と共に提出されたもの |
| <input type="checkbox"/> | 請求の範囲 第 _____ 項、 | 出願時に提出されたもの |
| | 請求の範囲 第 _____ 項、 | PCT19条の規定に基づき補正されたもの |
| | 請求の範囲 第 _____ 項、 | 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの |
| | 請求の範囲 第 _____ 項、 | 付の書簡と共に提出されたもの |
| <input type="checkbox"/> | 図面 第 _____ ページ/図、 | 出願時に提出されたもの |
| | 図面 第 _____ ページ/図、 | 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの |
| | 図面 第 _____ ページ/図、 | 付の書簡と共に提出されたもの |
| <input type="checkbox"/> | 明細書の配列表の部分 第 _____ ページ、 | 出願時に提出されたもの |
| | 明細書の配列表の部分 第 _____ ページ、 | 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの |
| | 明細書の配列表の部分 第 _____ ページ、 | 付の書簡と共に提出されたもの |

2. 上記の出願書類の言語は、下記に示す場合を除くほか、この国際出願の言語である。

上記の書類は、下記の言語である _____ 語である。

- 国際調査のために提出されたPCT規則23.1(b)にいう翻訳文の言語
- PCT規則48.3(b)にいう国際公開の言語
- 国際予備審査のために提出されたPCT規則55.2または55.3にいう翻訳文の言語

3. この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでおり、次の配列表に基づき国際予備審査報告を行った。

- この国際出願に含まれる書面による配列表
- この国際出願と共に提出された磁気ディスクによる配列表
- 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された書面による配列表
- 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された磁気ディスクによる配列表
- 出願後に提出した書面による配列表が、出願時における国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった
- 書面による配列表に記載した配列と磁気ディスクによる配列表に記録した配列が同一である旨の陳述書の提出があった。

4. 補正により、下記の書類が削除された。

- 明細書 第 _____ ページ
- 請求の範囲 第 _____ 項
- 図面 図面の第 _____ ページ/図

5. この国際予備審査報告は、補充欄に示したように、補正が出願時における開示の範囲を越えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c) この補正を含む差し替え用紙は上記1.における判断の際に考慮しなければならず、本報告に添付する。)

V. 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条（PCT35条(2)）に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)

請求の範囲 1-11 有
請求の範囲 _____ 無

進歩性 (I S)

請求の範囲 1-11 有
請求の範囲 _____ 無

産業上の利用可能性 (I A)

請求の範囲 1-11 有
請求の範囲 _____ 無

2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

文献1 : WO 01/42186 A1

説明 :

国際調査報告で引用された上記文献1には、請求の範囲1-11に記載された発明は記載されていないから、これら発明は、新規性を有する。

上記文献1には、エストロン誘導体の17位をオキシかヒドロキシ及びアルキニル基で置換し得ること、該化合物がエストロゲン活性、又はアンチエストロゲン活性を有することが記載されており（請求の範囲、反応図式9、10等参照）、これらの置換基を採用することは当業者が容易に行うことである。また、本願明細書中で、文献1に記載された化合物との薬理作用の比較がなされているが、ごく少数のものについてしか比較されておらず、請求の範囲1-11に記載された発明が、請求の範囲全体にわたって格別顕著な効果を奏するものとも認められない。したがって、請求の範囲1-11に記載された発明は上記文献1に記載された発明に基づいて当業者が容易になし得たものであり、進歩性を有しない。

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP03/04222

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

Int.Cl⁷ C07J1/00, A61K31/566, A61P19/10, 35/00, 43/00

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int.Cl⁷ C07J1/00, A61K31/566, A61P19/10, 35/00, 43/00

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)
CAPLUS, REGISTRY (STN)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	WO 01/42186 A1 (C & C RESEARCH LAB.), 14 June, 2001 (14.06.01), & AU 2001018883 A & EP 1241158 A1 & JP 2003-40834 A & NO 2002002783 A	1-11
P,A	WO 03/004515 A1 (CHUGAI SEIYAKU KABUSHIKI KAISHA), 16 January, 2003 (16.01.03), (Family: none)	1-11

 Further documents are listed in the continuation of Box C. See patent family annex.

* Special categories of cited documents: "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "E" earlier document but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed	"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "&" document member of the same patent family
---	--

Date of the actual completion of the international search 26 May, 2003 (26.05.03)	Date of mailing of the international search report 10 June, 2003 (10.06.03)
--	--

Name and mailing address of the ISA/ Japanese Patent Office	Authorized officer
Facsimile No.	Telephone No.